

同窓会たびり

発行
恵那南高等学校同窓会
〒509-7793
恵那市明智町41-2
<http://school.gifu-net.ed.jp/enaminami-hs/>
TEL(0573)54-2537
FAX(0573)54-4652

印刷・デザイン
株式会社サラト

創立十周年に向けて



学校の活性化を

同窓会長 度会 敏彦

恵那南高校同窓会も今年度で八年目となり、二年後には、学校も同窓会も十周年を迎えます。度会敏彦会長のもと、十周年記念式典の準備を始め段階となつていきます。また、学校長として、昨年度より谷口陽一郎先生が着任されておられます。

岩村高校同窓会と明智商業高校同窓会が統合し、「恵那南高等学校同窓会」が発足し八年目を迎えました。このたび、同窓会長として二期目の大役をひき続き務めさせていただきますことになりました。微力ではありますが、よろしくお願いいたします。また、学校創立十周年に向け、今から準備してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

同窓生は、岩村高校、または明智商業高校の卒業生だと思えます。母校の名前は変わってしまったかも知れませんが、それぞれの母校の伝統はしっかりと受け継いでもらっています。また、恵那市南部の地域が発展するには同窓会、地域社会とともに

恵那南高校の現役生徒の活性化が肝要です。ぜひ、お子さんやお孫さんに恵那南高等学校をお勧めいただきたいと思います。同窓会としても会報発行や生徒表彰などの活動を活発にしていきたいと思つています。ただし、運営のための資金は厳しくなつていきます。同窓会発展のため、また学校や地域のためにも、会員のみならずまご支援やご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



失ってはならないもの

校長 谷口 陽一郎

恵那南高等学校は「総合学科」の学校で、進学・就職、さまざまな目標に対応できるバランスの取れた学校です。中でも、小・中・特支学校とともに教育活動を推進する「浪漫学園」という活動はこの学校にもない活動で、生徒の自信となり、素晴らしい生徒が育っています。しかし、今年度の入学生徒数が激減してしまいました。

五月、生まれて初めて手術をしました。入院も初めてでした。精密検査で「大腸がん、今から入院」で、何の準備も心構えもなく、することのなまま、手術まで一週間ほどかかりました。本人は自覚症状がなく、体調も悪くないので、仕事しないのも

何だか申し訳ないような感じでした。当たり前なのかもしれないませんが、二週間ほど何も食わず点滴だけなのでお腹がすかないのも不思議な感じ。何より、間もなく全身麻酔の手術が控えています。そのまま目が覚めることがないかもしれないわ

で、ふだん「命の教育」を訴え、命の大切さを説く立場からすると、もう少しじじじばたしてもいいようなものですが、「しょうがないか」という感じで、妙に落ち着いていました。実際、自分にできることはそんなになく、命を預けるしかないのです。本心に「しょうがない」わけですが、不思議な気持ちでした。執刀医の先生はじめ多くの方のご助力で、戻って来ることができたわけです。

先日、通勤途中ラジオを聴いていたら、「失うものを持っていないければ、何も怖くない。」というような言葉がありました。生きてるのが当然、と思つていると死が怖い、ということかもしれません。

さて、本校には、失ってはならないものがたくさんあります。校内にいると、生徒の元気なあいさつや成長する姿に励まされる毎日ですし、同窓生や保護者、地域の皆さんにも暖かい声援をいただいています。

しかし、生徒数の減少は、部活動はじめさまざまな影響を及ぼしています。在校生や来年度以降の入学生が、これまでと同様豊かな学校生活を送れるよう、生徒募集に最大限の努力をしていかなければなりません。同窓会総会でも皆さんからさまざまなご意見、ご助言をいただきました。本校は総合学科の高校として、地域に根ざした学校です。同窓会はじめ、地域の皆さんの応援が何よりの力になります。

間もなく十周年を迎える本校の発展へのご助力を、今後ともよろしくお願いいたします。

会費納入のお願い

平素は本会の活動にご支援いただきありがとうございます。

さて、同窓会活動を支える経費は、入会金と会員の皆様からの会費を財源としております。しかしながら、生徒減少にとどまらず入会金の減少をはじめとし、収入は不足しております。逆に、この会報発行だけでも百五十万円を要し、非常に厳しい財政状態となつております。

同封の振込用紙を利用していただき、ぜひ会費を納入していただきますようご協力お願いいたします。

経費節約のため、前号より、この「同窓会だより」は同一家族と思われる同窓生の皆様へは一部のみお送りしていますので、振込用紙に記載されている金額はお一人様分ですが、できましたら同窓生の人数分×二千円に書き換えて納入していただけると幸いです。

また、次号より、会費を納入していただいた方のお名前を掲載する予定です。振込用紙に、その意思確認の欄がございますので、ご記入のほどよろしくお願いたします。

なお、郵便局では窓口より機械での振り込みの方が手数料がお安くなりますので、ぜひ機械でお願いたします。

恵南実科女学校の映像

— 20世紀のお宝映像 —

で生活してました)による田植え

- ・武並神社の石垣積み
- ・養蚕用の網作り
- ・マッサージの授業
- ・温室での花栽培
- ・学芸会
- ・体育の授業(なぎなた・幅跳び)
- ・水泳

手元に一枚のDVDがあります。「二十世紀のお宝映像」と題され、平成十五年に岐阜県が制作したもののようです。収録されている郡上や八百津の昭和の映像にまじり、群を抜いて古いものが一つあります。それが「恵南実科女学校の生徒の活動の様子」と題された昭和十三年、十四年頃のものと思われる映像です。再生してみると、収録されているのは、タイトルどおり、戦前の恵南実科女学校の生徒の様子で、全部で十分ほどのものでした。(ご存じでしょうか、恵南実科女学校は岩村高校の前身となった学校です)

・運動会の練習(女学校の校庭は狭く、小学校の校庭で、小学生と合同) ・バザー(手芸品・お菓子の販売) ・修学旅行 ・出征兵士の見送り など、内容は多岐にわたっています。

そこで、どのようにして、このDVDが作られたのかを調べてみました。すると次のようなことが判明しました。この映像は当時教鞭を執っておられた日比辨良先生が、当時としてはたいへん貴重だったと思われる十六ミリカメラで撮影・編集したものでした。そのフィルムが昭和五十年頃



撮影した日比辨良先生

岩村高校の図書館から見つかったそうです。しかし、見つかったそのフィルムは保存状態がたいへん悪く、それ以降に保存を続けることが無理なことはもちろん、とてもそのままでは上映することもできない状態のものでした。

そこで専門業者に依頼して、あまりにも状態のひどい部分は残念ながら廃棄し、上映・保存できる部分のみを新たにフィルムに現像し直してもらいました。岩村高校は昭和五十二年に「創立五十周年記念式典」を挙行しています。その際に、一度このフィルムの上映会をおこなったことがあるようです。

おこない、県下各市町村に、それにふさわしい映像はないですか、と呼びかけました。それを伝え聞いた同窓会事務局では「それならぜひ役立ててもらおう」と県に提供し、できあがったものが、このDVDということになります。

なお、この映像の内容についてご教示いただいたかたは次のみなさんです。深萱二子さん、渡会み糸さん、荻山すみ子さん。ありがとうございます。

また、一人でも多くの方に見ていただけるよう、インターネットのサイトに掲載しました。次のアドレスからご覧ください。インターネットの回線スピードにより読み込むのに時間がかかる場合がありますが、読み込みが完了するまでお待ちください。

http://school.gifu-net.ed.jp/entamini/hs/pc/H26/low_keinan.wmv



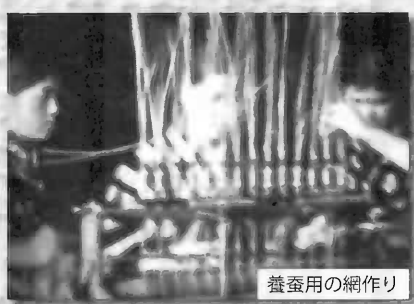
武並神社の石垣積み



焼いた炭を担いで帰る



マッサージの授業



養蚕用の網作り



学芸会



温室で花の栽培



体操の時間



小学校と合同で運動会

私は昭和三十五年三月に明智高校を卒業しました。入学した三十二年はまだ経済状態も悪く、高校への進学率も三十%台でした。私も中学卒業後は就職することが決まっていたが、担任の先生から熱心に進学を勧められ、土壇場で進学することにしました。高校三年間アルバイトをする条件で、両親からも了解を得られました。

入学して最初に強い印象を受けたことは、登校時、教頭先生が校門前で服装を厳しく点検しておられたことです。

二年生からは各自の進路希望によりクラス分けがありました。私は進学コースを選択しました。男女合わせて三十名ほどでした。最

初は勉強もせず、のんびりと高校生活を送っていました。野球部で練習に精を出し、夏の合宿では、体育館に泊まり、一週間ほど共同生活を体験しました。



野球と進学

近藤 正 直 (昭和35年明智普通科卒)

画された岩村高校との練習試合も、開始早々、雷雨のため中止となり、本当にがっかりしたことを覚えています。二年生の終わりごろには、大学

退部し、野球から遠ざかっていきましたが、夏休みのある日、野球仲間から、「投手がいらないので投げてくれ」と頼まれました。急遽百球ほど投球練習をして、翌日の

早朝ランニングに始まり、夜の素振りが終わるのが常でしたが、就寝前にトランプに興じたのが楽しい思い出です。現在と違い、大会は夏だけで、練習試合もほとんどありませんでした。たった一度計

入試のための模擬試験も増えると同時に、一年先輩の方々の素晴らしい入試結果を聞き、徐々に入試に向かう気運が高まっていったのを感じます。三年生のはじめには勉強のため

中津高校との試合に臨みました。すると、みごと完封勝ちを収めることができました。公式戦初勝利に、みな抱き合って喜んだことが今でも鮮明に浮かんできます。第二戦の相手は土岐商業高校で

した。七回まで○対○と健闘していましたが、練習不足の悲しき、指に血豆ができて降板しました。試合は救援投手が打たれて負けてしまいましたが一番の思い出として残っています。「来年で商業高校になるため進学コースはなくなる。進学コース存続のためにも頑張れ」と励まされ、最終的には四年制大学に十三人が合格しました。大学進学率も低かった当時の田舎の高校にしてはよくやったと思います。結局二年後には予定どおり「明智高校」が「明智商業高校」となり、少し寂しい思いをしましたが、先生方にはよく指導していただいたと感謝しております。

私の出身地「山岡町」は「遠山村」と「鶴岡村」が合併してできた町で、私は中学校が「山岡中学校」になった年に入学しました。「団塊の世代」と言われる世代より数年前の年代で、同年代は少なく、小学校は一クラス、中学校は三クラスでした。二年後には生徒数が激増することが分かっていて、それに対応する教員数を確保するため、私たちの学年には「幽霊生徒」があり、実際の生徒数より机が多くあった記憶が鮮明です。

岩村高校に入学が決まると両親が自転車と腕時計を買ってくれました。自転車は当時は貴重品でした。また、時計は父親が選んでく

れたもので、オシャレなデザインに感激し、長い間大切に使ったものです。自宅から山岡駅までは買ってもらった自転車で乗って行きました

から発車するという配慮を、何気なくされていたからではなかったのかと今になって思います。岩村駅から高校までは小川沿いの裏道を歩きました。ずっと坂道

校門の両脇のヒマラヤ杉が毎日私たちを出迎えてくれました。学祭の飾り付けもその杉が主役だったように思います。私は中学時代はバスケット部に



母校とは遠きにありて

樋田 俊 一 (昭和39年岩村普通科卒)

た。自転車屋さんの地下一階に駐輪し、駅までダッシュしました。ディーゼルカーには、いつも時間ギリギリで駆け込んでいました

が、乗り遅れた記憶が無いのは、駅員の方が全員の乗車を確認して

で、寒い日も暑い日も、雪の日もあつたはずですが、なぜか通学が

つらかった思い出はありません。高校へ通えることに対する感謝の気持ちが強かったからかもしれませ

所属していました。三月生まれのため身長が低く、バスケットをやれば身長が伸びるのではないかと期待しての入部でした。高校入学時には平均以上の身長になってい

て、先輩からも入部を勧められました。

岩村高校関東支部の総会には最後の三回に出席し、これからは私も協力しようと考えていた矢先の活動停止が残念でした。「母校とは遠きにありて思うもの」

卒業後は横浜の大学に進み、経済学を専攻しました。就職は金融機関を選び、若いときは岐阜支店でも二年間勤務しました。高校時代に感じていた岐阜県のイメージとは随分違い、地方銀行や信用金庫の資金の多さ、技術水準の高い中小企業の多さに驚いたものです。

Topics

恵那南高校トピックス

平成十九年に恵那南高等学校となって八年目を迎えました。生徒たちは恵那市内はもちろんのこと、瑞浪市・土岐市・中津川市からも通学してきてくれています。昨年度から今年度にかけての生徒の活動の様子をお伝えします。校名は変わりましたが、みなさんの後輩が生き生きと頑張っていることを知っていただきたいと思えます。

明知鉄道を盛り上げるには

二十五年六月二十五日、三年次生のビジネス系列流通モデルで「ベンチャービジネス」という授業の選択者二十三人と明知鉄道の職員が明知鉄道に対する意見、要望、明知鉄道を盛り上げるための企画・アイデアを出す懇談会を実施しました。

五人のグループに明知鉄道職員一名がついて約一時間懇談をし、その中で出た意見を最後にまとめて発表しました。話し合いの中からは、恵那の日本一（農村風景、寒天生産、駅ホームの傾斜）のアピール、犬や猫とふれあえる列車、デザート列車などのイベント列車の企画、小学生のデザイン募集などの案が出ました。

明知鉄道の企画懇談会



ぐに取らかかることが出来る意見が出ていて、明知鉄道関係者からも好評をいただきました。

ボランティア清掃 「地域会」

二十五年八月二十七日午前、明知商業高校の伝統を受け継いだ恒例の「地域会」をおこないました。

「地域会」とは本校がおこなっているボランティア活動の一つで、生徒たちが自分たちそれぞれの地元を清掃して、いつもお世話になっている地域に恩返しをしようと、二十年以上続けている行事です。

この日、生徒たちは登校前に各地の掃除場所に集合し、ゴミ拾い・草むしり・窓ふき・トイレ掃除など、それぞれ汚れた場所を探して清掃作業をおこないました。

その一つ、岩村コミュニティセンターでは、会館内三方所のトイレ掃除と、ホールの掃き掃除をおこないました。トイレ掃除では、女子も男子トイレをきれいにしてくれたり、トイレの床や便器をぞうきんで拭き掃除したりして、職員のかたの期待以上の働きに、終了後は感謝の言葉をいただきました。

大正村で販売実習

大正村の空き店舗をお借りし、二十五年十月十九日から五回、店舗販売の実習をしました。

これは、実際にものを売る体験を通して、ビジネスとはどういうものかを理解してもらおうという目的でおこなうものです。生徒たちは店舗から通りへ出て、観光客や地元の方に大きな声で呼びかけ、元気に販売しました。十九日には明智町で収穫されたリンゴがよく売れたようです。

場所は大正村役場下の松徳屋で、明智や山岡の地元商品を中心に販売しました。

本校で東海地区総合学科学研究大会

二十五年十一月十三日、東海地区の総合学科を持つ高校から多くの先生方にお越しいただき、「高等学校総合学科学研究大会」を本校で開催しました。遠くは伊豆を含めた東海四県の高専や、地元小中学校、さらには文部科学省や県教委の先生方にも来ていただき、盛大な大会となりました。

午前は浪漫学園関係の授業を中心

に本校の生徒たちが一生懸命学習している姿を見ていただきました。午後は最初に全体会での研究協議をおこない、本校が実践している教育について発表しました。その後、分科会に分かれ、三重県と静岡県の先生がそれぞれ発表なさいました。



小学生に自然観察を指導する浪漫学園の授業

保育園児も応援 校内ロードレース大会

二十五年十二月六日、恒例のロードレース大会を開催しました。十二月にしては暖かい天候のもと、生徒たちは体育の授業を通じて養ってきた走力を見せてくれました。

P.T.A役員や生徒支援委員をはじめ、同窓会役員、保護者会のみなさんがコース途中に立ち、交通安全に気を使っていたりなど、運営にご

協力いただきました。また、明智保育園の園児たちもゴール付近に陣取り、ラストスパートする選手に大きな声援をくれました。部活動を引退した三年次生に代わり、一・二年次生がクラス対抗で頑張りました。



ゴール前で保育園児から声援

第四回産社・総合学習発表会

二十六年一月二十二日午後、明智かえでホールにて、今年度の「産社・総合学習発表会」をおこないました。地元のみなさんや保護者のかたがた、他校の先生がたも見に来られ、盛会となりました。

一年次生代表による「産業社会と人間」の授業を通じて学んだことの発表、二・三年次生代表による「総合的な学習」の発表、「浪漫学園」の活動発表と、さすがにどれも代表者だけに素晴らしい発表ばかりで、本校のキャリア教育の成果を見ていただくには最適な発表会でした。

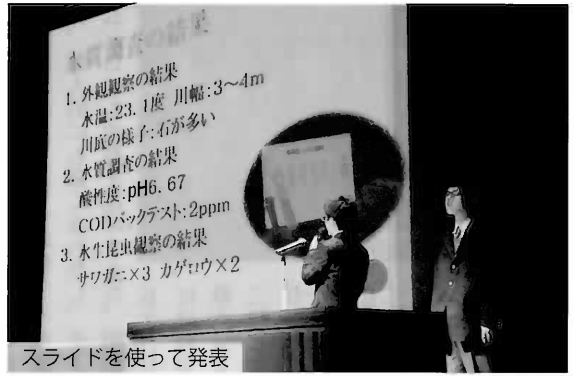
二十六年五月二十三日午後、二年前に本校を卒業した先輩を招いて「卒業生と語る会」を開催しました。五限は全校生徒で五人の先輩がたのお話を聞き、六限は三年次生のみで少人数に分かれ、座談会形式で質問をするなど、さらに詳しい話をうかがいました。

現三年次生が一年次だったときの三年次生に当たるわけで、顔を知っている先輩が、二年前とは見違えるようにしっかりと話をしてくれる様子に、現役の生徒たちは驚くと同時に、社会に出ることの重大さを目の当たりにした様子でした。会終了後に生徒たちが書いた感想にも、そのことがあらわれていました。

毎年、この会を境に生徒たちの進

卒業生と語る会

路選択に向けての目つきが変わってきます。身近な先輩の具体的なアドバイスや態度に感じるところがあるのでしょうか。



明智小学校で読み聞かせ

二十六年六月十二日、福祉保育系列の三年次生が明智小学校で朝の読み聞かせ交流会をおこないました。この読み聞かせ交流会にあたって、学年に合った絵本を選んだり、読み込みや質問、入退室時の挨拶などを繰り返し練習し本番に臨みました。その成果があらわれ、当日は笑顔を見せ、落ち着いて読み聞かせをおこなうことができました。

やり終えた生徒からは「真剣に聞いてくれて最後の質問には多くの手が挙げてくれてよかった」「緊張したけれど、私も楽しみながら読み聞かせができたのでよかった」「最後の読み聞かせでしたが、しっかりとやり切ることができました」という感想が聞かれました。

福祉保育系列二年次生も教室の後ろで見学していましたが「先輩は声の大小や読むスピードなど工夫していて、さすがだと思いました」「小学生のみんなを真剣に聞かせる読み聞かせはすばらしいと改めて思いました」「今度は私たちが二月に読み聞かせをするので、元氣な挨拶や相手に語りかけるような読み方をし、表情を良くしたいと思いました」などの感想が聞かれました。

二十六年六月十二日、福祉保育系列の三年次生が明智小学校で朝の読み聞かせ交流会をおこないました。この読み聞かせ交流会にあたって、学年に合った絵本を選んだり、読み込みや質問、入退室時の挨拶などを繰り返し練習し本番に臨みました。その成果があらわれ、当日は笑顔を見せ、落ち着いて読み聞かせをおこなうことができました。

九人の野球部 勝利にあと一步



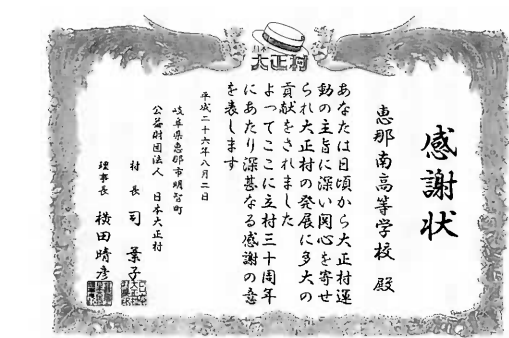
二十六年七月六日、土岐市総合公園野球場で、第九十六回全国高校野球選手権の予選があり、本校野球部は山県高校と対戦、〇対二で惜敗しました。

本校はわずか九人の部員で、一人の怪我人も許されない状況の中、必死に守り、三度のダブルプレー、さらにはトリプルプレーまで完成させ、相手のチャンスの芽を次々と摘み取り、耐えてきましたが、ついに三回と七回に一点ずつ奪われまじ。合計のヒット数も五本ずつと互角でしたが、本校はチャンスでヒットが出ず、その差が結果に表れました。

野球部員の保護者はもちろん、同窓生や現役生徒が多く応援に参加し、声を振り絞ってくださいました。

大正村から感謝状

本校のある明智町は「日本大正村」として地域の活性化を図っています。その大正村が今年で三十周年を迎え、二十六年八月二日には明智かえでホールにて「日本大正村立村三十周年記念式典」がおこなわれ、大正村村長の司葉子さんをはじめ、竹下景子さん、相田翔子さんなど多くのゲストも訪れ盛会となりました。その式典の中で本校に感謝状が贈呈されました。本校は、吹奏楽部・ギター・マンドリン部がさまざまな行事において演奏をしたり、地域振興部をはじめとした生徒たちがイベントを裏方として支えています。また、各年次ごとに大正村の清掃活動も年に数回おこなってきました。本校生徒の活動が大正村の大きな部分を支えているといっても過言ではありません。



大正村からいただいた感謝状



第七回 佐韋翔祭

本校の学校祭は地元を代表する植物であるササユリの古名「佐韋」から「佐韋翔祭」と名づけられています。第七回となる佐韋翔祭体育の部を二十六年九月四日におこないました。生徒数の減少に伴い、昨年までのクラス対抗という形式が困難になり、今年から地区別の三軍団対抗でおこないました。今にも雨が降りそうな空模様でしたが、生徒たちは元氣いっぱいグラウンドを駆け回りました。

その活動に対していただいた感謝状です。これからも本校の教育の一つの幹としてボランティア精神を養い、大正村に協力していきたいと思っています。

駅伝がくれたもの

勝川 誠 (昭和56年明智商業科卒・現中津高校教諭)

私は明智商業高校に在学した。田舎の小さな学校で、全国的知名度もない学校であった。

昭和五十年、この高校に駅伝を志す情熱ある先生が赴任して来た。三好正司先生である。赴任されて来られた当時は、陸上部のメンバーだけでは駅伝チームがつかれず、他の部活動からの加入で大会に参加していたという。昭和五十一年に初めて岐阜県大会に参加して、翌年には初めて県大会に入賞、東海大会出場を果たしたと聞く。

私が入学したのはその翌年である。駅伝を目指し入学した同級生が七人いた。個性豊かなメンバーで、そのうち二人は下宿をしてこの高校に来た。強い先輩や同級生に恵まれ、個人的にも強くなれたし、チームとしても成長を遂げてきた。昭和五十三年



ゴールテープを切る勝川さん

には岐阜県大会で二位となり、東海大会にも出場した。私はこの大会で最終七区を任された。私が

たすきを受け取った時、六・七番手を競っていた。ここまで運んでくれた仲間のたすきを肩からかけ懸命に走った記憶がある。三十六年前の出来事ではあるが鮮明に覚えている。ゴールテープを切った瞬間にゴールで待つてくれていた仲間の笑顔が忘れられない。この年は東海六位に入賞できた。

翌年の昭和五十四年も岐阜県大会は二位、東海大会も六位と前進はなかった。いつも、私たちの前には中京商業高校(現中京高校)がいた。大きな壁であった。

この年は、私自身も低迷し苦しい時間を過ごしていたため、あまり良い記憶がない。この年、中京商業高校は全国高校駅伝を制覇した。

そして高校生の最後の年を迎えた。優秀な後輩達にも恵まれ、私達も強くなった。この時には駅伝を目指す仲間が二十人を超えていた。夏のつとめない練習を乗り越えて迎えた岐阜県大会、結果は無惨にも二位と力が出し切れないまま、中京商業高校にまたもや敗退してしまいました。その敗北のあと、仮想全国大会として東海大会にすべてをかけて挑戦した。同級生六人がメンバーに選ばれ、私たちがやって来た三年間の思いをこの大会にぶつけたのだ。

その結果、一区から先頭を一度も

譲ることなくゴールすることが出来た。何が起きたのかも信じられない瞬間であった。三年間やって来たことへのご褒美かと思った。周りからはお祝いの言葉や、「明智商業はこの県?」という声も耳にした。気分は最高だった。中京商業高校に勝ったのもこれが初めてのことだった。この年、県大会で私たちに勝った中京商業高校は岐阜県代表として全国高校駅伝に出場して二連覇を成し遂げている。

私は卒業し十四年後の平成六年に再び明智商業高校へ教員として帰ってきた。私の学生時代の「駅伝」の素晴らしさを教えたたちに伝えたいと考えていた。すでに、同級生である東海大会優勝のメンバーの羽柴卓也先生(現土岐商業高校教諭)がチームづくりに取り組んでいたため、第

二期とも言える駅伝チームづくりが出来た。教え子たちが必死に頑張っている姿は私の高校時代に重なった。そして教員として駅伝チームを東海大会に行かせること六回と母校のため力を注いだ。

恵那南高校の裏山のクロスカントリーコースを地域の方々をはじめ同窓会の協力によって造っていただいた。(平成十七年三月完成)このコースの工事を手がけてくれたのが、同級生である東海大会優勝メンバーである門野久司君である。「駅伝」というつながりが人生の礎になっている。この明智商業高校で駅伝というものに取り組み、あの箱根駅伝に出場したOBが二人、実業団で活躍した者や大学で活躍した者が何人もいる。母校にとっても名誉なことでもあり誇りに思う。高校時代に一生懸

明智商が初優勝飾る



Vサインを掲げてゴールインする健闘選手(羽柴卓也)

富士宮北に1分3秒差

中京商3区走者骨折し3位

【中津】第29回東海高校駅伝大会が、11月1日(日)朝7時、中津市立総合体育館で開かれた。今年も県内外から多くの高校が集まり、激しい競争が展開された。最終区は、中津市立総合体育館をスタートとし、中津市立総合体育館をゴールとする。この大会は、県内外から多くの高校が集まり、激しい競争が展開された。最終区は、中津市立総合体育館をスタートとし、中津市立総合体育館をゴールとする。

前半マイペース 奏功

【中津】第29回東海高校駅伝大会が、11月1日(日)朝7時、中津市立総合体育館で開かれた。今年も県内外から多くの高校が集まり、激しい競争が展開された。最終区は、中津市立総合体育館をスタートとし、中津市立総合体育館をゴールとする。

◇第29回東海高校駅伝成績◇

区	1	2	3	4	5	6	7	合計タイム 時間・分・秒
区長	10・0	3・0	8・1	6・1	3・0	5・0	5・0	2・11・14
①明 専 門 (中津)	30分22秒	9分02秒	25分41秒	22分29秒	9分11秒	15分48秒	15分55秒	2・11・14
②本 土 大 学 (中津)	31分32秒	9分02秒	25分29秒	25分33秒	9分20秒	15分35秒	15分46秒	2・12・17
③中 京 商 (中津)	31分00秒	9分18秒	25分50秒	25分50秒	9分24秒	15分32秒	15分48秒	2・12・32
④名古屋商大 (愛知)	30分28秒	9分14秒	25分19秒	25分16秒	9分16秒	15分44秒	16分02秒	2・12・34
⑤本 土 大 学 (中津)	31分49秒	9分07秒	25分32秒	25分07秒	9分31秒	15分48秒	16分03秒	2・13・09
⑥本 土 大 学 (中津)	31分49秒	9分07秒	25分32秒	25分07秒	9分31秒	15分48秒	16分03秒	2・14・03

【区 長】 80分22秒
 1区 羽柴卓也(明) 89分52秒
 2区 水野 健樹(明) 29分08秒
 3区 藤田 健太(中京) 25分29秒
 4区 藤田 健太(名古屋) 25分07秒
 5区 藤田 健太(明) 15分32秒
 6区 藤田 健太(明) 15分32秒



駅伝の仲間たち

命やって来たことが、今の人生に大きく係わっている。

平成二十四、二十五年度の本校生徒の進路状況を掲載します。
長引く不況による求職者の減少により、専門学校への進学が増加傾向にあります。また、女子を始めとして取得した資格を生かすことのできる事務職は、相変わらずずかずかありません。
本校の生徒は素直で真面目な性格であり、どこに勤めても一生懸命頑張ることが出来ます。しかし、自信がなく、第一印象が弱いところがあります。現在、進路支援部では、総合学科であることを生かしたキャリア教育を推進し、自己表現力や基礎学力の向上に努めています。
進学系列を希望する生徒は少ないものの、毎年、国公立四年制大学へも進学しています。

就職

地区	所在地	企業名	H25					H24				
			製造技能	事務	販売	サービス	他	製造技能	事務	販売	サービス	他
県外	名古屋市	JR東海東海旅客鉄道株										1
		佐川急便株中部支社				1						
		敷島製パン株						1				
		株札幌かに本家				1				1		
		株リゾートトラスト				1				1		
		ヘアサロン カラット								1		
	豊田市	アフエクション中村結城				1						
		トヨタ自動車株	1					1				
		林テレンプ株	2						2			
		株エノキ工作所	1									
刈谷市	株デンソー	1					1					
	太田商事株							1				
春日井市	株サンデリカ名古屋事業所	1					1					
	ナフコ株不二屋			1					1			
小牧市	名古屋ダイヤモンド工業株						1					
	有ギッシュ								1			
知立市	松田工業株						1					
	陸上自衛隊					1					1	
恵那市	アイカ電子株						1					
	明知ガイシ株	2						2				
	明智セラミックス株	1						1				
	株明智ゴルフ倶楽部								3			
	明知・大成化工株	1					1					
	岩村三協株						1					
	株恵那川上屋								1			
	恵那東海理化学株	3					1					
	協和ダンボール株							1				
	株吉良見ライフサービス									1		
	串原林業					1						
	グループホームいわむら憩				1							
	恵南森林組合										1	
	社会福祉法人恵和会									1		
	(医)恵雄会(こころ)				1					1		
	(社福)恵雄会(こころ)			1						1		
	松栄特殊印刷工業株						1					
	瑞陵精機株							1				
	ダイキャスト東和産業株							1				
	千代田電子工業株	1						1				
	東濃コア株	1						1				
	株トータルケア あじさい				1							
	株トマト				1							
	株ナカヤマ	2										
	日本バルレコン株								1			
	ハロマ工業株恵那工場							1				
	JAひがしみの東美濃農業協同組合	1						1				
	本多金属工業株	1							1			
	明光化成工業株	1						2	1			
	山岡カントリークラブ				1							
	山本石油株			1								
	株ワールドデリバリー								2			
	株協立								1			
	中津川市	株さくら屋								1		
		昌和工業株	1									
	瑞浪市	鈴木工業株								1		
		中津川ナッシングピア				1						
		大澤ワックス株		1								
		中工精機株	1									
		東濃石油株								1		
株西日本佐美 中部支店				1								
みずなみ瀬戸の里					1							
土岐市	(医)瑞岐会(ひざし)				1					1		
	ムライ機器株	1							1			
	株十味惣	2							1			
	(医)聖泉会聖十字病院					1						
多治見市	高砂工業株	1										
	株丸利玉樹利喜蔵商店								1			
	株アスライフ 気楽苑								1			
可児市	中部興産株										1	
	土井自動車販売株				1							
高山市	(社福)ピアンカ				1							
	株可児ゴルフ倶楽部								1			
その他	飛騨運輸株								1			
	岐阜県警									1		



進学

種別	学校名	H25	H24	
四年制大学	国立	名古屋市立大学	1	
	私立	滋賀大学	1	
		愛知学院大学	2	
		愛知淑徳大学	2	
		岡崎女子大学	1	
		岐阜経済大学	1	
		金城学院大学	1	
		実践女子大学	1	
		至学館大学	1	
		椋山女学園大学	1	
		専修大学	1	
		中部大学	4	
		名古屋学院大学	2	
		名古屋芸術大学	1	
名古屋商科大学	1			
短期大学	国立	三重短期大学	1	
	私立	愛知文教女子短期大学	1	
		至学館大学短期大学部	2	
		中京学院大学短期大学部	4	
		名古屋経営短期大学	1	
		国立障害者リハビリテーション学院	1	
	専門学校	国立	岐阜県立国際園芸アカデミー	1
		私立	愛生会看護専門学校	1
			あいちビジネス専門学校	2
			あいち福祉医療専門学校	1
愛知ヘッド専門学校			1	
朝日大学歯科衛生士専門学校			1	
エコール辻大阪			1	
加茂看護専門学校			1	
国際製菓技術専門学校			1	
セントラルトリミングアカデミー			1	
中日美容専門学校			1	
中部看護専門学校			1	
中部美容専門学校			1	
東海医療科学専門学校			1	
東海医療工学専門学校			1	
土岐医師会准看護専門学校			1	
ナノ福祉歯科医療専門学校			1	
名古屋医療秘書福祉専門学校			2	
名古屋クエテックフラービューティ専門学校			1	
名古屋工学院専門学校			1	
名古屋コミュニケーション専門学校	2			
名古屋情報IT専門学校	1			
名古屋スクールオブビジネス	1			
名古屋製菓専門学校	1			
名古屋調理専門学校	1			
名古屋デザイナー学院	1			
名古屋動物専門学校	1			
名古屋ビジュアルアーツ	2			
名古屋ビューティアート	1			
名古屋1374歯科製菓専門学校	1			
日産愛知自動車大学校	1			
ニチエイ調理専門学校	2			
日本聴能言語専門学校	1			
H A L 名古屋校	1			
まつかけ看護専門学校	1			

恵那南高等学校同窓会役員

役職名	地区(担当)	役員
会長	(岩村)	度会 敏彦 (昭39普)
副会長	岩村地区 (岩村)	水野 利美 (昭46普)
	明智地区 (明智)	植田 勝彦 (昭39商) 松原 淑明 (昭48商)
	山岡地区 (岩村)	中島 利雄 (昭39農)
	上矢作地区 (岩村)	荒田 雅晴 (昭44普)
	恵那地区 (明智)	小木曾 孝治 (昭40商)
	中津川地区 (岩村)	渡辺 和義 (昭35普)
	瑞浪地区 (明智)	伊藤 照雄 (昭43商)
会計	(明智)	三浦 育代 (昭51商)
理事	岩村地区 (岩村)	中根 邦子 (昭53普)
	(明智)	渡辺 和弘 (昭49商) 土屋 純子 (昭47商)
	明智地区 (岩村)	堀 君史 (昭48普)
	(明智)	中村 俊彦 (昭59商)
	山岡地区 (岩村)	度会 憲治 (昭42普)
	(明智)	勝川 妙子 (昭42商)
	上矢作地区 (岩村)	川上 好美 (昭41普)
	(明智)	三宅 武利 (昭51商)
	恵那地区 (岩村)	小林 良平 (昭43農)
	(明智)	古里 芳伸 (昭54商)
監査	中津川地区 (岩村)	後藤 初秋 (昭41農)
	(明智)	吉田あけみ (昭48事)
顧問	瑞浪地区 (明智)	農見 孝之 (昭57商)
	(岩村)	河田 清文 (昭37農)
相談役	(明智)	梅村 吾三 (昭38商)
		谷川陽一郎 (学校長)
事務局		西久保成樹 (昭34商)
		小松 房行 (昭37商)
		勝 正憲 (昭38商)
事務局 事務局長		奥村 直之

第七回同窓会 総会を開催

平成二十六年六月二十八日(土)、第七回同窓会総会を岩村知新會館で開催しました。

総会では昨年度の決算・事業報告、今年度の予算・事業案、さらには二期目となる度会会長を含んだ新役員案などをそれぞれ承認しました。

同窓会役員を中心に一般会員の参加も得て無事に終了しました。今春、新しく恵那南高校を卒業した若い会員も出席してくれ、恵那南高校

同窓会として、新たな力が育っていることが感じられました。

ただ、恵那南高校卒業生は第一回生でもまだまだ若く、同窓会活動は、岩村高校・明智商業高校卒業の諸先輩の力に頼らざるを得ません。多くの先輩がたのご協力をお願いいたします。

総会は毎年六月の第四土曜日に開催する申し合わせになっています。次回は平成二十七年六月二十七日に開催する予定です。また、総会は隔年で岩村町と明智町に会場を変えておこなっており、来年度は明智町が会場です。

多くの会員のみなさまの参加をお待ちしています。



同窓会総会

平成26年度 恵那南高等学校同窓会予算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(収入の部) (単位:円)

項目	26年度予算額	摘要
繰越金	3,972,827	前年度繰越金
人会金	420,000	5,000円×84名(平成26年度卒業生)
年会費	1,050,000	25年度未入金分(¥32,160)、26年度入金予定額
負担金	0	
繰入金	0	
雑収入	173	預金利息等
合計	5,443,000	

(支出の部)

項目	26年度予算額	摘要
管理運営費	246,000	
旅費	10,000	旅費として
会議費	76,000	同窓会総会、役員会費
消耗品費	40,000	卒業生へ賞状ケース贈呈
通信費	120,000	総会・役員会案内・年会費納入お礼状等
会報発行費	1,500,000	会報発行
生徒報奨金	30,000	10,000円×3人
慶弔費	50,000	慶弔費
予備費	3,617,000	予備費
合計	5,443,000	

予算の流用については会長の専決による



同窓会から 生徒を表彰

毎年、卒業式前日に「同窓会入会式」をおこなっていますが、同日「同窓会表彰」として三人の生徒に対し、表彰状と副賞を同窓会長から贈呈しています。

- ・部活動に努力し、顕著な成績をあげた者。
- ・学業に努力し、優秀な成績をあげた者。
- ・生徒会活動等に活躍し、顕著な貢献をした者。

表彰する生徒はこのいずれかに該当し、かつ、他の生徒の模範と

なった生徒です。原則として各学年から一名ずつです。

24年度は次の三人でした。

- (一年次生) 鈴木まみさん
- (二年次生) 熊谷円花さん
- (三年次生) 鈴木聖加さん

25年度は次の三人でした。

- (一年次生) 勝川亜美さん
- (二年次生) 伊藤駿君
- (三年次生) 野村裕規君

また、同窓会では卒業する生徒ひとり一人に、卒業証書収めるフォルダーを贈呈しています。